

建築史家 笠原一人 講演会

「戦後建築の保存活用と改修のあり方を考える」



近年、全国各地で戦後建築、とりわけモダニズム建築の保存活用が話題となり、保存活用される事例も増えている。そんな中、保存活用や改修のあり方に、新たな課題や問題が生じつつある。戦後建築の保存活用の難しさは何か、また改修はどのように考えデザインするべきか。海外の事例も交えながら、そのあり方を検討する。

講師：建築史家 笠原一人（かさはらかずと）



建築史家。京都工芸繊維大学助教。1970年神戸市生まれ。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。博士(学術)。2010-11年、オランダ・デルフト工科大学建築学部客員研究員。専攻は近代建築史、建築保存再生論。リビングヘリテージデザイン(旧住宅遺産トラスト関西)理事、DOCOMOMO Japan 理事。著書に『ダッチ・リノベーション』(鹿島出版会/単著)、『建築と都市の保存再生デザイン』(鹿島出版会/共編著)、『建築家 浦辺鎮太郎の仕事』(学芸出版社/共編著)、『村野藤吾のリノベーション』(国書刊行会/共編著)、『関西のモダニズム建築』(淡交社/共著)など多数。

日時／2022年3月5日(土) 14:00～16:00
(13:30 受付開始)

場所／岡山県立図書館デジタル情報シアター
(岡山市北区丸の内 2-6-30)

定員／40名(入場無料)

※新型コロナウイルスの感染状況により、緊急事態宣言等が発令された場合は中止となる場合があります。

主催／(一社)日本建築学会中国支部岡山支所

後援／岡山県、岡山市、(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会、(一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、岡山建築設計クラブ

下記付随事業において福武教育文化振興財団助成事業の成果を活用しています

【問合せ先】岡山支所事務局(担当：山田)

TEL：086-226-7508

【付随事業】研究報告会「岡山県内の近現代建築調査報告」

(一社)日本建築学会中国支部岡山支所 岡山近代建築研究会代表 上田恭嗣



FAX (086) 226-7882 お手数ですが、必要事項を記入の上2月23日(水)までにFAXにてお申込みください。

お名前

会社名

電話番号

お申込はFAXのほか、e-mailでも結構です。「笠原一人講演会」の旨を記載いただいた上、お名前、会社名、電話番号を添えてください。

e-mail yuuki_yamada@pref.okayama.lg.jp

※メールアドレスの最後は「エルジー ドット ジェイビー」です。